

災害対策士C級一次試験 練習問題 1

問1

以下の文章中の空欄に当てはまる適切な語句を答えなさい。

災害によってもたらされる物理・社会現象等の被害(OUTPUT)は、ハザード(INPUT)と社会システムや地域特性(SYSTEM)により規定される。

社会システムや地域特性は、地形・地質・気候といった(1)_____環境特性、人口分布/密度・政治・経済・文化といった(2)_____環境特性、季節・曜日・時刻といった(3)_____的要因に分類される。

問2

災害とハザードに関する文章について、空欄に当てはまる適切な語句を答えなさい。

1961年に制定された(1)_____の第二条には、「災害」の定義が記されている。曰く、「災害とは、暴風、竜巻、豪雨、豪雪、洪水、崖崩れ、土石流、高潮、地震、津波、噴火、地滑りその他の異常な(2)_____、または大規模な火事若しくは爆発その他その及ぼす被害の程度においてこれらに類する政令で定める原因により生ずる被害をいう」、すなわち、「災害」とは(2) および事故をきっかけとして被害が生じる現象を指す。

このように、地震や豪雨などの「災害」を誘引しうる自然現象と「災害」は別物である。ここで、この災害を誘引しうる自然現象は「(3)_____」と呼ばれ、「災害」と区別される。ハザードの種類は、災害対策基本法の第二条に記載された暴風、竜巻、豪雨、豪雪、洪水、崖崩れ、土石流、高潮、地震、津波、噴火、地滑り等である。

問3

地震に関する文章において、空欄に当てはまる適切な語句を埋めなさい。

地震発生時に報道等で頻繁に用いられる指標として、(1)_____と(2)_____が挙げられる。(1)は地震によって放出された(3)_____の大きさ、すなわち地震の規模を示す。一方、(2)は特定の地震による各地点における揺れの強さを表す。

現在の日本では、アメリカの地震学者チャールズ・リヒターが考案したマグニチュードの概念を採用している。また、震度は(4)_____が定めた0から7までの10段階の震度階で表される。

問4

気象災害に関する文章において、空欄に当てはまる適切な語句を答えなさい。

代表的な気象災害の一つである「台風」について述べる。台風とは、北西太平洋または南シナ海に存在する熱帯低気圧のうち、最大風速が約(1)_____ m/s以上のものを指す。さらに、最大風速が33m/s以上である場合には「強い」、44m/s以上である場合には「非常に強い」、54m/s以上である場合には「(2)_____」のように形容される。

台風は赤道上で発生した熱帯低気圧が北上する際に、海面からの水蒸気をエネルギー源として成長し、台風へと発展する。上陸するとそのエネルギー源が絶たれるため徐々に衰退し、最終的には「(3)_____」に変わる。また、台風が通過する際の気象も特徴的である。台風の中心部にある「台風の目」では、雲に覆われず晴れた状態となるが、その外側には濃密な積乱雲があり、激しい雨が連続的に降る。さらに外側には降雨帯が存在する。風の吹き方も特徴的であり、台風の中心に向かって「(4)_____」に風が吹くため、台風の右側では台風による風と台風自体を移動させる風の向きが一致して強い風が吹く一方、左側ではこれらの風が逆向きに吹くため風速が小さくなる。

問5

以下の地盤災害に関連する文について、正しいものを一つ選びなさい。

1. 地すべりはしみこんだ地下水によって、緩い傾きの斜面がずれ落ちる現象。
2. 土石流は振動により土粒子間のかみ合いが外れ地下水中に浮いた状態になる現象
3. がけ崩れは山や谷の土砂が水と混じた状態で崩れ落ちる現象。
4. 液状化は雨水がしみこみ、土の抵抗力が落ちて崩れる現象。

災害対策士C級一次試験 練習問題 2

問6

以下の1923年以降に発生した4つのハザードについて、発生した順に並び変えなさい。

1. 東北地方太平洋沖地震
2. 雲仙普賢岳噴火
3. 伊勢湾台風
4. 九州北部豪雨

問7

以下の震災とその犠牲者数が適切となるように組み合わせなさい。

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. 1923年関東大震災 | A. 約6,400人 |
| 2. 1995年阪神・淡路大震災 | B. 約105,000人 |
| 3. 2011年東日本大震災 | C. 約22,000人 |

問8

日本の地域特性に関する文章について、空欄に適切な語句を埋めなさい。

東北地方や関東地方は地震と津波のリスクが高く、南海トラフ沿いの四国地方や九州地方も同様に大規模な地震リスクを抱えている。一方で、西日本の山間部や九州の火山地域では、(1) _____ や火山噴火が重大な脅威となる。さらに、沖縄地方は亜熱帯気候により台風の影響を強く受け、(2) _____ や浸水被害が頻繁に発生する。

このように、地域ごとに異なる災害リスクに対して、適切な災害対策が求められる。各地域の特性を理解した上で、(3) _____ の整備や住民の防災意識向上を図ることが重要である。これにより、災害発生時の被害を最小限に抑え、迅速な復旧と再生を可能にする体制を構築することが求められる。

問9

以下の複合災害に関する文章について、空欄に適切な語句を埋めなさい。

ハザードは必ずしも一つずつ現れるとは限らない。同時に複数のハザードが発生し、被害が生じることを(1) _____ という。(1)では、それぞれの災害に個々に対応するよりも考慮すべきことが増え、対応が複雑に絡み合うことになる。

例として、1707年の宝永地震が挙げられる。この地震は南海トラフ沿いを震源地として発生したが、この地震に関連して(2) _____ の噴火が起きたとされている。このため、現在懸念されている南海トラフ地震への対応においても、地震への対応と同時に(2)の噴火への対応も考慮されている。

また、2011年東日本大震災による地震や津波の復旧・復興をしながら、同時に台風による被害からの復旧を求められた自治体もあった。さらに、2020年の7月豪雨では、熊本における豪雨災害と同時に(3) _____ のパンデミックが発生しており、避難者への対応がそれ以前とは異なるものとなっていた。

問10

避難所における生活環境の整備に関して正しいものをすべて選びなさい。

1. 避難所の安全性及び居住性の確保
2. 食糧、衣料、医薬品などの生活関連物資の配布
3. 保健医療サービスの提供
4. 避難所の設置場所に関する住民の意見をすべて取り入れること

災害対策士C級一次試験 練習問題 3

問11

防災基本計画に定めるべき事項として、以下から正しいものをすべて選びなさい。

1. 防災に関する総合的かつ長期的な計画
2. 防災業務計画及び地域防災計画において重点をおくべき事項
3. 国民の個別の避難計画
4. 防災業務計画及び地域防災計画の作成の基準となるべき事項

問12

以下の九州地方に地形に関する文章について、空欄に適切な語句を選択肢から選びなさい。

九州地方はその位置や地形ゆえに様々な災害リスクを抱えている。具体例をいくつか挙げると、福岡市を通る**(1)**断層系は地震のリスクが非常に高いとされており、熊本県を流れる**(2)**は急流として知られ、2020年の豪雨では氾濫が発生した。また宮崎県の沿岸は過去に起きた**(3)**を震源とする地震によって発生した津波被害を受けたことがある。

選択肢：

南海トラフ、警固、球磨川、野島断層、高梁川

問13

日本の諸地域における地質に関する文章について、以下のうち適当でないものをすべて選びなさい。

1. 東北地域は古第三紀の火山岩や堆積岩に広く覆われているため、基盤岩類の詳しい分布と構造がよくわかっていない。
2. 広島県の山地は主に広島花こう岩から成り、その岩石は長い間雨や風にさらされると「マサ土」という砂状の土に変化する。
3. 第1種地盤は軟弱で液状化の可能性がある一方、第3種地盤は固く直接基礎にできる可能性がある。
4. 列島の基盤は大陸側ほど古く、太平洋側ほど新しい。

問14

以下の施策について、治水または利水のどちらに当てはまるかを答えなさい。

1. 堤防の建設
2. 貯水池の建設
3. 水質の維持・改善
4. 排水ポンプの設置
5. 河道浚渫
6. 地下水の管理

問15

災害対応の原則に関する以下の文章について、空欄に当てはまる語句を入れなさい。

災害の被害を最小限に抑えるためには、**(1)** _____ ・ **(2)** _____ ・ 公助のそれぞれが災害対応力を高め、連携することが重要である。大きな災害が発生すると、行政からの支援が遅れる場合があるため、自分を守る「**(1)**」と地域や身近な人同士が助け合う「**(2)**」が重要となる。平常時から避難経路や危険箇所を把握し、スムーズな避難行動を心がけることが必要である。また、近隣の人々とのコミュニケーションを積極的に取ることも大切である。

災害対策士C級二次試験 練習問題 1

問1

災害対策業務Field Guideでは、災害対策を8つの分野として定義している。そのうち「ガバナンス・組織運営」に該当するものとして、次の選択肢のうち最も適切なものを選びなさい。

1. 災害情報の収集と伝達
2. 避難所の設置と運営
3. 災害対策の組織体制の構築と運営
4. 地域再建支援のための資金調達

問2

市町村長が発令できる避難指示に関する規定について、次の記述のうち正しいものをすべて選びなさい。

1. 市町村長は、災害が発生した場合に居住者等に対して避難のための立退きを勧告することができる。
2. 市町村長は、急を要すると認めるときには、避難のための立退きを指示することができる。
3. 避難指示は、必ず避難勧告を経てから発令されなければならない。
4. 災害発生のおそれがある場合、市町村長は避難勧告を出すことができる。

問3

令和3年5月に改訂された「避難情報に関するガイドライン」では、避難情報を5段階の警戒レベルに整理している。次のうち、警戒レベルに関する説明として正しいものをすべて選びなさい。

1. 警戒レベル1は、「早期の注意情報」であり、特に促される行動はない。
2. 警戒レベル4は「避難指示」であり、避難勧告と避難指示を一本化した。
3. 警戒レベル5は「緊急安全確保」とし、直ちに安全確保を促す。
4. 警戒レベル3は「高齢者等避難開始」で、高齢者等のみが避難を開始する。

問4

災害時に活動する専門職の正式名称と略称を適切になるように組み合わせなさい。

- | | |
|----------------|---------|
| 1. 災害派遣医療チーム | A. DPAT |
| 2. 災害派遣福祉チーム | B. DMAT |
| 3. 災害介護派遣チーム | C. DCAT |
| 4. 災害派遣精神医療チーム | D. DWAT |

問5

災害時における広報の要点について空欄に当てはまる言葉を入れなさい。

1. **(1)** _____ ・適時性
2. 徹底した **(2)** _____
3. **(3)** _____ の視点に立った判断

問6

市町村災害対策本部について定めた災害対策基本法の条文である。空欄に当てはまる適切な語句を選択肢の中から選びなさい。

市町村災害対策本部は、市町村地域防災計画の定めるところにより、次に掲げる事務を行う。この場合において、市町村災害対策本部は、必要に応じ、関係指定地方行政機関、関係地方公共団体、関係指定公共機関及び関係指定地方公共機関との連携の確保に努めなければならない。

- 一 当該市町村の地域に係る災害に関する **(1)** _____ を収集すること。
- 二 当該市町村の地域に係る災害予防及び災害応急対策を的確かつ迅速に実施するための方針を作成し、並びに当該方針に沿って **(2)** _____ 及び **(3)** _____ を実施すること。

選択肢：

災害予防、情報、災害応急対策、緊急安全確保

災害対策士C級二次試験 練習問題 2

問7

以下の情報に関する説明文について、それぞれ流言、うわさ、デマ、フェイクニュースのどれに該当するか答えなさい。

1. 特定の地域で最近発生した災害に関する詳細な報告がなく、個人やグループが話題にしている情報。確認が取れていないが、口伝えで広まっている。
2. ある政治家が不正行為を行ったという話が、意図的に流されている。証拠がなく、虚偽であると知りながら広められている。
3. ニュースサイトに掲載された、実際には起こっていない出来事に関する記事で、虚偽の写真とともに広まっている。特定の目的を持って意図的に作られたものである。
4. 近隣の店が閉店するという噂が広がっているが、公式な情報源では確認されていない。影響は限定的で、広がり方が自然発生的である。

問8

発災時のハザード情報の収集・分析・伝達について、次の選択肢のうち最も正しいものはどれか。次の選択肢から一つ選びなさい。

1. 既存の情報のみを基に判断し、新しい情報は待つから対応する。
2. 情報ニーズが著しく増大するため、情報収集・分析を迅速に行い、能動的に確認する。
3. 伝達手段が限られている場合、情報の伝達を後回しにする。
4. 報道機関からの情報だけに頼り、他の伝達手段を使用しない。

問9

災害時の住民への広報コミュニケーションとマスメディア対応の観点から、首長がとるべき対応として正しいものをすべて選びなさい。

1. 希望的観測で今後のスケジュールを発表する。
2. 広報計画を立案し、災害対策本部において対応の進捗を把握する。
3. 外部からの支援を受けることも意識して、報道機関と連携する。
4. マスメディアには定期的に情報発信し、対応の進捗状況を共有する。

問10

以下の検索活動や遺体安置について、適切なもの一つを選びなさい。

1. 遺体の身元判別の順序は、検案、検視、歯科検査の順に進めることが妥当である。
2. どんな場合であっても、救助活動効率化のため、安否不明者の氏名はすべて公表しなければならない。
3. 遺体安置所以外の場所にも、遺体が運び込まれることがあることも意識しておく。
4. 自衛隊が遺体を発見した場合、発見した部隊はすぐに次の現場へ移動しなければならない。

問11

以下は物資の調達・供給に関する実行段階における説明文である。この中から適切なものをすべて選びなさい。

1. 応急支援物資の計画に従い、現場での対応体制を構築し、物資の情報管理体制を整える。
2. 緊急輸送道路の確保のために、車両乗り入れ規制や交通規制を行い、ドライバーへの周知を徹底する。
3. 自衛隊と物流業者の役割分担を曖昧にし、柔軟に対応する。
4. 物資の情報管理体制を作り、現場での応急支援物資の取り扱いをスムーズにする。

災害対策士C級二次試験 練習問題 3

問12

住家の被害認定調査について、以下の文章から適切なものをすべて選びなさい。

1. 調査班、入力班等の役割分担を行い、調査体制を確保する。
2. 罹災証明書の発行と被害認定調査の担当課を一本化する。
3. 調査員による被害認定のバラツキをなくすため、レベルの統一を図る。
4. 調査体制の役割分担を行わず、調査の進捗を後回しにする。

問14

災害廃棄物処理について、適切な対応として次の選択肢からすべて選びなさい。

1. 生活環境の保全と公衆衛生の確保は、廃棄物処理担当部局の最重要ミッションであることを確認する。
2. 分別方針を早期に決定し、住民に対して分別排出の徹底を呼びかける。
3. 初動対応で混合廃棄物が多くなり処理が長期化する可能性があるが、その情報は発信せずに対応を行う。
4. 初動対応で混合廃棄物が多くなり処理が長期化する可能性があるため、その情報を早期に発信し、復興の遅れを周知する。

問13

道路施設の被害状況把握・復旧について、適切な対応を次の選択肢からすべて選びなさい。

1. 市町村は、国や県などの道路管理者と連絡・協議し、道路啓開は地元建設業者と連携する。
2. 路上障害物の除去等の簡易な応急復旧作業により、道路啓開を行う。
3. 物資の輸送、消防、救急の通路確保のため、優先ルートを決める。
4. 速やかに復旧すべき箇所では、災害査定を待たずに管理者の判断で復旧工事を実施しない。

問15

災害に関連する法律に関する以下の文について、適切なものをすべて選びなさい。

1. 災害救助法も激甚災害法も、その対象は人である。
2. 住家が全壊した際、被災者生活再建支援法に基づいて最大300万円が支給される。
3. 被災者生活再建支援法は、一世帯でも住家が全壊した世帯が市町村にあれば必ず適用される。
4. 特定非常災害特別措置法は2011年の東日本大震災を契機として制定された。